

平成24年度 第12回 市民と市長の対話集会 市長と語ろう!ほっとミーティング

開催結果報告書

- 1 開催日時 平成25年（2013年）1月30日（水）
午後7時から午後9時まで
- 2 開催場所 横内公民館 ホール
- 3 テーマ 横内地区のまちづくり
- 4 出席者 参加者16名 傍聴者8名



横内公民館での集会の様子

5 市長あいさつ

皆様、こんばんは。今夜はお忙しい中、対話集会に御参加いただき厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

市長に就任し、任期4年間の半分を終えようとしています。東日本大震災の後に就任しましたので、市民の皆様の生命と財産、安心安全を守るための施策を行ってきました。昨年度はこの対話集会においても、市内4か所に伺って市民の皆様と防災対策に関わるお話をさせていただきました。今年度は地区自治会連合会単位で地域に伺い、その地域のまちづくりをテーマに対話集会を開催させていただいています。皆様からいただいた御意見は、市政への反映を考えていきたいと思えます。

政権が交代して景気が上向き期待がありますが、まだまだ混沌とした時代は続きそうです。平塚市も平成25年度の予算編成を進めていますが、景気対策の効果はすぐに表れるものではありません。税収も減って予算にも限りがあり、市民サービスの重点を見極めて施策を行う必要があります。その中で、地域のまちづくりは地域の皆様によって支えていただくことが一番良いと考えます。平塚市の各地域には豊富な文化や歴史があり、人材がいます。私は地域の皆様が地域の課題を捉え、皆様がまちづくりを動かしていただける姿が理想であると考えます。地区自治会連合会が力を持ち、まちづくりを進めていただける体制づくりが私の役目と思っています。そのために、行政は決して手を抜きません。

今夜、この横内地区での開催が今年度12回目の対話集会です。地域に伺ってお話を聞くと、様々な課題を抱えていることが分かります。私がお答えできることは率直にお話させていただきますが、この場ですぐにお返事できないこともあるかと思えます。その時には、一旦持ち帰らせていただき、担当部署に確認して皆様に御回答させていただきます。今日はよろしく願いいたします。

6 主な対話集会の内容

① 高齢化社会について

【参加者】

少子高齢化が進んでいます。独居高齢者や高齢者世帯へのサポートが必要で、今後は買い物難民の増加が課題です。例えば、スーパーマーケットに配達をお願いすることも必要になります。

【市長】

御意見のとおり、高齢化への対策は課題です。昨年4月の時点で、平塚市の高齢化率は約22パーセントで、今後も上がり続ける見込みです。もうすぐ、4人に1人が65歳以上の高齢者の方になります。これからは、高齢者の方の生活を基準にしたまちづくりが必要です。その中の大きな課題が買い物難民です。御存知のとおり、横内地区の商店街も少なくなりました。逆に、国道129号沿いには大きな店ができています。地域や商店で地域の高齢者の方を支えていく体制づくりが必要です。スーパーマーケットの中には、配達を行ってくれるところもあります。そのようなサービスがなければ、商売が成り立たなくなっていることも事実です。実は今日、スーパーマーケットを管理する会社の方とお話する機会がありました。見守りも含めた配達を強化し、高齢者の方との接点を増やしていただくようお願いしました。

これからの高齢化社会の中では、高齢者の方が自分の住んでいる地域で医療や介護のサービスを受けられ、食料品などを買えることが望まれます。行政は民間企業への呼びかけを行いながら、買い物難民への対策を行っていきたいと考えます。

【参加者】

高齢者は家から出ることが少なくなります。独居高齢者や高齢者世帯の安否確認や健康状態の把握は大切です。孤独死や急な体調不良のための対策について聞きたい。

【市長】

崇善地区で開催したほっとミーティングで、近所の独居高齢者の方が亡くなり、数日後発見されたというお話がありました。これからは、行政による見守りのシステムも必要であるとの御意見をいただきました。そこで、平成25年度には、予算を取って緊急通報システムの充実を図ります。独居高齢者の方などの安心のために、支援を行っていきます。

【参加者】

定年を迎えた方や高齢者の方でも、元気な方は多くいます。主人は定年を迎え、地域の方と知り合ったことがとても嬉しかったようです。姉は厚木市が実施する農業学校で仲間が増え、楽しく活動しているそうです。そのような方が活躍できる機会を設ければ、地域のまちづくりは盛んになると思います。

【市長】

平塚市も市民農園を実施しています。花菜ガーデンの周りにも市民農園の区画を用意しました。今、農業の担い手が少なくなりました。様々な方が農業に関わっていただける機会をつくっています。指導者もつけ、農業を学びながら作物を作る体験をしていただいています。非常に人気があり、抽選の倍率も高くなっています。

実は、私も公民館主事をしていました。当時学んだことは、定年を迎えた時、様々な地域の活動に参加していただいていた女性には地域とのつながりがありますが、会社勤めをしてきた男性には地域とのつながりがないことでした。私は囲碁や将棋をきっかけに公民館へ集まっていただきました。そこで知り合った地域の方を通して様々な地域の活動に興味を持っていただき、地域とのつながりをつくっていただきました。社会教育の活動の中で、地域のつながりづくりに取り組んだ覚えがあります。公民館や町内福祉村などの活動の中でも、地域や世代間での交流をつくっていただければありがたいと思います。

【参加者】

横内団地の高齢化率は60パーセントを超えています。エレベーターもない団地では健康維持も大切です。

また、横内団地の中には、経済的に苦しく、生活状況が悪い家庭もあって心配です。

【市長】

横内団地の高齢化率が60パーセントを超えていることは認識不足でした。高齢化社会を迎え、高齢者の方のためのまちづくりが必要です。先日、この公民館で開催されたゴムひも体操にも参加させていただきました。健康な体を維持していただく介護予防も大切なことです。

また、経済的に苦しい世帯が増え、生活保護を含めたセーフティネットも重要です。しかし、平塚市も多くの生活保護扶助費を抱え、平成24年度予算は約60億円です。中には不正受給もありますが、皆様からお預かりした大切な税金ですので、厳しい審査を行って正確性を保っていきたいと考えます。

② 外国籍の方の交流や教育について

【参加者】

横内地区は外国籍の方が多く住む地域です。この地区のまちづくりのためには、外国籍の方とのコミュニケーションを上手にとって一緒に取り組むことも必要です。しかし、言葉の壁は大きな課題です。子ども同士はすぐに仲良くなりますが、保護者同士の交流はとても難しいことです。

【市長】

多くの外国籍の方がこの地域で暮らしていただいています。御意見のとおり、言葉の壁はあります。日本語の講座や学校での日本語教室なども行われています。課題はとても多いですが、異文化との交流などの良い面もたくさんあります。異文化に触れることで学べることもあり、他の国の言語を身近に感じられることは貴重です。コミュニケーションを上手にとって交流をしていただけたらありがたいことです。

【参加者】

横内小学校のクラスの約3分の1は外国籍の子どもです。外国籍の子どもは様々な問題を抱えています。日本語が全くできない子どもや日常会話はできるが勉強についていけない子ども、親の仕事が忙しくて夜中や朝まで一人で過ごす子ども、夕食や朝食を食べずに学校に来てふらふらしている子どももいます。

【市長】

日本人の子どもと同様に、外国籍の子どもが充実した学校生活を送れるようなサポートを教育長にはお願いしています。平塚市独自の制度では、サン・サンスタッフ（学習支援補助員）を学校に派遣し、授業の補助を行っていただいています。これからは、徐々にサン・サンスタッフの人数を増やしていけるよう、教育への人的サポートに関わる予算も考えていきたいと思えます。子どもは平塚市の大切な宝です。子どものために、教育対策をしっかりと進めていきたいと思えます。

【参加者】

横内小学校に派遣していただいているサン・サンスタッフは2名です。横内小学校は他の学校に比べ、授業の補助を必要とする児童が多くいる学校です。できれば、他の学校より需要が多いと考えられる横内小学校へは、サン・サンスタッフを多く派遣していただきたいと思えます。

担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認しました。）

サン・サンスタッフ（学習支援補助員）については、子ども一人ひとりにきめ細かい支援ができるよう充実に努めてまいりました。市内の各小中学校からは、より多くのサン・サンスタッフの派遣を希望する声があり、本市教職員課としては、児童・生徒の状況や教職員数等総合的に検討し、適正な配置をめざしてまいります。

（事務担当は教職員課教職員担当）

【参加者】

子どもを通して保護者に届く文書は多くあります。市や地域の情報、学校の行事など、大切なことが多く書かれています。しかし、多くの文書が日本語で書かれているため、日本語を読めない保護者には理解できません。数箇国語に翻訳していただけるとありがたいです。

【市長】

現実問題として、全ての外国籍の方の母国語に翻訳することは難しいので、漢字にはルビをふりながら対応しています。

しかし、災害時に言葉が分からず、被害に遭うようなことがあってはいけません。ここで、自治体の防災対策の指針となる地域防災計画を改定しました。防災対策においては、数箇国語での対応も必要になると考えています。英語などの多くの方が使う言語での対応は行っていきたいと思います。

③ 施設について

【参加者】

この横内公民館は古く、建て替えの時期もやってきます。また、公民館の近くには保育園や子どもの家、学校もあります。そして今、町内福祉村の開村を計画しています。将来的に、公民館のあるこの地域に高齢者から子どもまでが集まれる複合施設ができれば、この地域を中心とした地域活動が発展すると思います。

また、子どもが減少し、学校には空き教室があります。空き教室を地域の活動の拠点にすれば、有効な活用ができると思います。

【市長】

町内福祉村の計画に手を挙げていただき、本当にありがたく思っています。他の地域では、身近な支援や世代間の交流などを行っていただいています。例えば、吉沢地区では、高齢者の方が子どもに様々なことを教える活動もあります。ぜひ、他の地域の活動も参考にさせていただき、取り組んでいただきたいと思います。

この横内公民館は市内でも古い公民館です。建て替えも含め、公民館のあり方を検討する時期で、社会教育部では計画を進めています。これまでは、基準を満たせば、文部科学省から建て替えのための補助金を受けることができましたが、今は全て市の予算で建てる必要があります。しかし、平塚市は全国でも珍しく、小学校区に1館ずつ公民館があります。これを利用しない手はありません。今、この各公民館を中心としたまちづくりを進める、公民館のまちづくりセンター化を考えています。その中に、町内福祉村を取り込むことも考えられます。御意見のとおり、この地域には学校や保育園、公民館、子どもの家があります。将来的には、複合施設ができればとても素晴らしいことです。これからの課題として考えさせていただきたいと思います。

また、市内には市立の保育園と幼稚園があります。働くお母さんが増え、遅くまで子どもを預けたいという要望が多くなりました。保育機能の需要が高まって枠を広げるために、子ども園の構想があります。モデル地区として、港地区の須賀保育園と港幼稚園を統合した複合施設を考えています。子育て支援を厚くする施設の充実と公民館などの施設の組み合わせも考えていきます。

空き教室については、教育施設の中に福祉や地域活動の施設を含ませることができるかなどを検討する必要がありますので、今後の課題として捉えさせていただきます。

④ 地域の活動について

【参加者】

体育振興会で活動しています。ソフトボールなど、様々な行事が少なくなっています。運動だけでなく、地域の活動は盛んになってほしいです。

【市長】

地域の活動の中で、地域の人との接点を持っていただく体制をつくっていくことが必要です。行政や公民館、地区社協、自治会が積極的に機会を設け、魅力あるイベントや活動を提示することが大切です。御苦労をおかけしますが、今後もよろしく願いいたします。

【参加者】

より良い地域づくりのために、自治会には全員加入という方法を取れば、高齢者の方や外国籍の方も含めた幅広い活動ができると思います。自治会への加入活動には行政も協力していただいています。協働推進課に作っていただいた案内は大変効果があります。

【市長】

地域の皆様で地域をつくっていただくために、自治会に加入していただくことはとても良い方法です。強制的に加入させることはできませんが、自治会に入るメリットなどを理解していただきながら、加入していただけるよう進めていきたいと考えます。

行政は宅地建物取引業協会と協定を結んでいます。不動産屋が物件を紹介するときには、自治会への加入を勧誘していただくようお願いしています。できるだけ多くの方に、自治会に加入して地域づくりを一緒に行うことへの意識を持っていただけるよう努めていきます。

⑤ 交通安全について

【参加者】

近く、大神の環境事業センターが稼働します。近隣市町村からごみが運ばれてくることで、大型収集車の交通量が増えます。特に、子どもの通学路の安全が心配です。

【市長】

大神の環境事業センターが完成し、10月から稼働します。当面は、平塚市と大磯町のごみを燃やし、平成28年度からは二宮町のごみも加わります。大磯町と二宮町からは、大型車に積み替えてごみを運び込む計画です。登下校中の子どもや地域の皆様の安心安全のために、ルートなどの説明をさせていただきました。時間帯や台数、ルート、危険防止のための対策などは、センターがある大神地区だけでなく、ルートとなる地区の皆様にも説明する必要があります。危険防止のために、小田原厚木道路の側道を通行することも考えられています。できるだけ、地域の皆様に危険が及ばない方法を考えていきたいと思えます。

【参加者】

八幡地区から横内地区を通り、伊勢原市に抜けるバス道路には、歩道がなく道幅も狭い危険な場所が多くあります。道路や橋の老朽化も見られ、特に北野橋は危険です。道路標示が消えているところもあります。定期的なメンテナンスを行ってほしいと思えます。

【市長】

平塚市だけでなく、インフラの老朽化は顕著です。笹子トンネルの天井落盤事故もありました。国からの調査もあり、平塚市唯一のトンネルである日向岡トンネルの検査もしました。平成25年度には、市が管理する道路などの補修を進めていきます。台帳を作って管理、運営を行っていく方針です。北野橋は私もよく通るため、道幅の狭さや歩行者の危険はよく分かります。そのようなチェックは常時行っていて、計画的に改修を行っていきますので御理解をお願いいたします。

安全対策のために、横断歩道前の注意喚起の色を変えて目立たせる対策も行っています。分かりやすい表示やメンテナンスも常時行っていきたいと考えます。

7 市長によるまとめ

横内地区で暮らし、生活している皆様が、この地域の課題や問題を一番感じていらっしゃるということがよく分かりました。お話をさせていただいたとおり、私はその課題や問題に対して、地域の皆様のお力で取り組み、地域を良くしていくという風土や環境をつくっていくことが地域の発展につながると考えています。我々行政も、決して取り組まないのではなく、皆様が直面する課題や問題の解決に向け、皆様と一緒にできる限り努力いたします。これからも、皆様がそれぞれの立場で、お力を生かしていただき、まちづくりに携わっていただけたら本当にありがたいことです。

今日は本当に貴重なお話をいただきました。皆様の取り組みにお礼を申し上げて、終わりの言葉とさせていただきます。今日はありがとうございました。

アンケート結果報告

【回答数 21件（参加者 16件 傍聴者 5件）】

参加者・傍聴者について

年齢

20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
0名	0名	5名	5名	4名	7名	0名

性別

男性	12名
女性	8名
回答なし	1名

質問1 今回の「ほっとミーティング」の開催はどこでお知りになりましたか。

回答

	参加者	傍聴者	計
広報ひらつか	5名	1名	6名
ポスターやチラシ	0名	0名	0名
町内会など地域から	9名	1名	10名
市ホームページ	1名	0名	1名
その他	1名	3名	4名
回答なし	0名	0名	0名

質問2 市長との対話はいかがでしたか。

回答

	参加者	傍聴者	計
よかった	11名	4名	15名
まあよかった	5名	1名	6名
どちらともいえない	0名	0名	0名
あまりよくなかった	0名	0名	0名
よくなかった	0名	0名	0名
回答なし	0名	0名	0名

質問 3 質問 2 であまりよくなかった、よくなかったと答えた方について、市長との対話でよくなかった点はどのような点ですか。

回答 ・なし

質問 4 御自身の考えや思いは伝わりましたか。(参加者対象)

回答

伝わった	5名
まあ伝わった	8名
どちらともいえない	2名
あまり伝わらなかった	0名
伝わらなかった	0名
回答なし	1名

質問 5 質問 4 であまり伝わらなかった、伝わらなかったと答えた方について、御自身の考えや思いについて、伝わらなかった点はどのような点ですか。(参加者対象)

回答 ・なし

質問 6 対話集会について、御感想や運営への御提案はありますか。

- 回答**
- ・このような対話を続けてほしい。
 - ・10人くらいの参加者が良いと思う。
 - ・時間が短い。
 - ・大変良い対話集会でした。
 - ・参加者数を増やしてほしい。
 - ・報告書がまとめられ、施策に結びつくことが大切です。
 - ・地域の問題を考えて参加できる公民館の事業を進めたい。
 - ・予算に限りがある中、行政と地域がアイデアを出していくことが大切です。
 - ・地区の課題が分かってよかった。